

第3次由布市障がい者基本計画・第7期由布市障がい福祉計画・第3期由布市障がい児福祉計画（案）に係る
パブリックコメント（意見募集）の結果について

提出者	意見	寄せられたご意見（原文）	市の考え
1	P40 ⑬災害時の避難 等について	障害者の福祉避難所・個別支援計画をとにかく早く進めて下さい。	<p>近年は災害が頻発化・激甚化しており、障がい者や高齢者等、自力での避難が困難な避難行動要支援者について、実効性のある避難支援ができるよう避難行動と避難生活に関する個別避難計画の作成を進めています。</p> <p>計画作成にあたっては、作成に同意をいただいた方で、居住地の災害危険度・心身の状態の要配慮度・独居など社会的孤立度が高く、優先度の高いと判断される方から作成しているところです。</p> <p>また、計画作成の過程で、避難先を一般の避難所や親戚・知人の家などにすることが困難な場合は、福祉避難所への避難ができるよう施設と調整しています。</p> <p>市民の命と暮らしを守るために、個別避難計画の作成を加速化させます。</p>
1	P82 (8)発達障がい者等に対する支援	ペアレントプログラム、年に何度かスーパーバイザーを使ってやってほしい。	発達障がい者等及びその家族に対する支援体制（ペアレントプログラム・ペアレントトレーニング）の構築を令和8年度末までに図ります。

1	P83,P84 1 障害福祉サービス等の見込量と確保方策	<p>行動支援サービス</p> <p>由布市より週5回、1日2時間のサービス利用を得ているが、やられるヘルパーステーションが由布市に無く週1回1時間半しか使えていない。44時間/月はとても使えない。</p>	<p>由布市には行動援護を提供している事業所が1か所ありますが、ヘルパーが不足しており、利用者の方々のニーズに十分に答えることが難しい状況です。ヘルパー不足を解消し、一人ひとりのニーズに応じたサービス量を確保するため、適正な報酬や職員配置基準等の制度の見直しを国に要望していきます。</p>
2	P59 (3) 社会参加の促進	<p>生涯学習 いくつになっても学習する支援として公民館などの場所で学ぶことができるが、障がいがあるとそこに参加することがとても難しい。障がいがある人達が学べる集える場所等が欲しい。(定期的に関催 障がいがある人達の声を参考にした場所作り)</p>	<p>P59(3) 社会参加の促進②文化活動やスポーツ活動等の充実に反映しております。</p> <p>障がいのある人達が学べる集える場所等に関しては、地域活動支援センターふれあいサロンのぞみが創作的活動や生産活動の機会を提供しております。また、今年度から社会教育課が障がいのある人達を対象にした「ゆふぽきらきら教室」を年4回開催しております。</p>
2	P59 ④ 広報・情報提供の充実	<p>今回のパブリックコメント 3日前に知人から聞きました。折角の取り組みも障がいを持っている人、関わっている人達の意見が聞けなくては、その人達に寄り添った計画を作ることが難しいと思います。当事者じゃないとわからないことたくさんあります。</p>	<p>本計画の策定にあたっては、無作為に抽出をした由布市で生活する障がいがある方(600人)や市民の方(200人)に福祉に関するアンケート調査を実施したくさんの声をいただいております。今後はより多くの当事者の方々のご意見をうかがえるよう工夫いたします。</p>